



**伊藤 勇**  
 保谷伊藤眼科院長  
 大学病院で最先端の眼科医療に携わってきた眼科専門医。地域の医院との連携を積極的に図っている。

**黄斑前膜とは**

歪みが生じ、視力が低下していく病気です。文字通り、網膜の中心で視力を引き出す一番大事な場所(黄斑)に膜が張ってしまう疾患です。

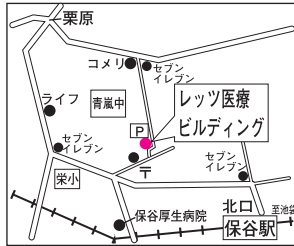
ただ膜だけが張っている場合は問題ないので、膜自体が収縮してきこくつついている黄斑にも牽引がかかり、シフが強くなり網膜の層が乱れてしまつて歪みを自覚し始め、さらには視力が低下していきます。

カメラで言うと、フィルムがぐしゃぐしゃになっている状態。原因はいろいろあります。目の中の炎症(ぶどう膜炎)の後遺症であったり、自覚なく若いころに目の中の血管が炎症を起こして、その際の炎症物質が溜まって発症したり、網膜裂孔(網膜に穴が空くこと)の際に網膜の裏側の細胞が目の奥底に溜まって発症したり、原因不明の場合もあります。

健康診断で指摘される場合が多いですが、自覚が無いため、放置してしまう例も。普段は両目でみているため良い方の目が補ってくれるので、自覚の困難さもあります。もし指摘されたら、1度は近くの眼科で現在の視力や歪みの具合をチェックしてもらつて安心です。問題がなくても、時々片目ずつで障子の棧などをみると歪みが分かりやすいです。

この病気は、薬でできる治療はありません。ひどくなったら、手術で取り除くしかありません。以前は視力がかなり落ちてから手術に踏み切る方向性でしたが、現在は自覚症状が出始めたらず術を勧める場合も少なくな

伊藤先生の  
**街かど診療室**  
**Q & A**



**【保谷伊藤眼科】**  
 西東京市北町1-6-1 レッツビルディング 3F  
 ☎ 042-439-8123 ※無料駐車場完備  
<http://www.itoganka.com/>  
 ■診療科目 眼科：網膜硝子体疾患手術、緑内障手術、白内障手術、眼科一般診療  
 ■診療時間 水・土曜午後、日曜、祝日は休診

	月	火	水	木	金	土	日
9:30~12:30	○	○	○	○	○	○	○
14:00~17:00	検査・診察	手術	手術	手術	検査・診察	○	○

覚症状が出始めたらず術を勧める場合も少なくな